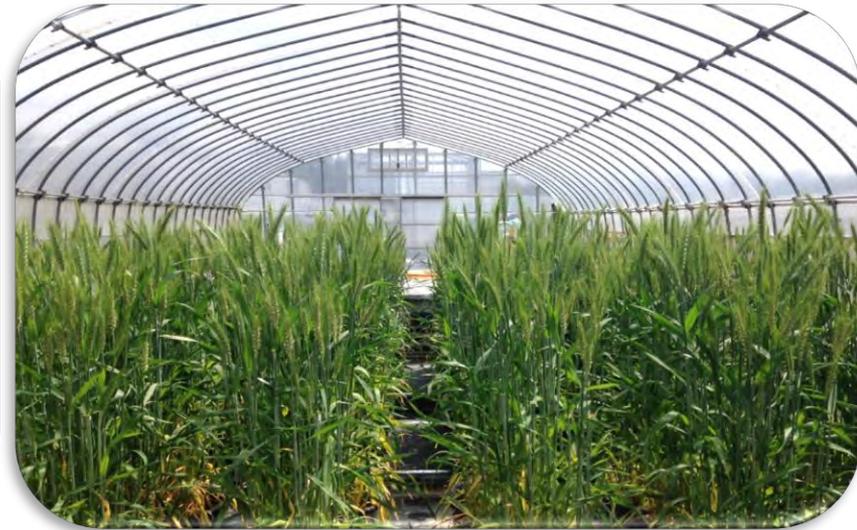


＜学位論文発表会＞

Nutritional and physiological studies on improvement of productivity and grain quality in wheat (*Triticum aestivum* L.) under drought stress condition

(乾燥ストレス下における小麦の生産性と品質の向上に関する栄養生理学的研究)

乾燥は、穀類の生産量を阻害する最も主要な環境ストレスである。本論文では、NPK施肥量の異なる条件で小麦の生産性と子実の品質に及ぼす乾燥ストレスの影響を解析し、さらに、サリチル酸の葉面散布とK肥料を併用すること等により乾燥ストレス下でもコムギの生産量と子実品質が向上することを明らかにした。



演者: MOHAMMAD SAFAR NOORI (生物圏科学研究科環境循環系制御学専攻)

日時: 2018年1月31日(水) 15:00-16:00

場所: 生物生産学部C201講義室

* 本発表会は、生物圏科学研究科の共同セミナーとして認められます

連絡先: 実岡寛文(内線: 7917)

saneoka@hiroshima-u.ac.jp